



2018年12月期 第3四半期

決算説明資料

FINANCIAL RESULTS FOR THE THIRD QUARTER 2018



目次

TABLE OF CONTENTS

- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略

2018年12月期 第3四半期 ハイライト

HIGHLIGHTS FOR THE THIRD QUARTER 2018

カーブアウト企業の進捗

当社からカーブアウト & 第三者割当増資をおこなった株式会社TRUSTDOCKが、日本経済新聞社・金融庁開催の「FIN/SUM x REG/SUM 2018」のSTARTUP PITCH RUNにおいて、NTTデータ賞と野村ホールディングス賞をダブル受賞。



スタートアップスタジオとして新規事業開発へ取り組み

事業アイデアを事業化するプログラム「FUTURE PROOF」等を開催し、外部人材も登用した事業開発を継続的に実施。

引き続きリーンスタートアップでの事業検証およびほか新規事業への出資検討も実施へ。



2018年12月期 第1～第3四半期 振り返り

OUTLOOK ON THE THIRD QUARTER 2018

連結業績

子会社の連結除外により事業構成が大きく変動 ※1

売上高： 2,205百万円 前年比 54.3%減
営業利益： 360百万円

ソーシャルメディア サービス事業 ※2

既存事業である当セグメントは引き続き伸長

売上高： 1,201百万円 前年比 50.9%減
営業利益： 360百万円 前年比 95.1%増

インキュベーション事業

営業投資有価証券の売却により収益拡大

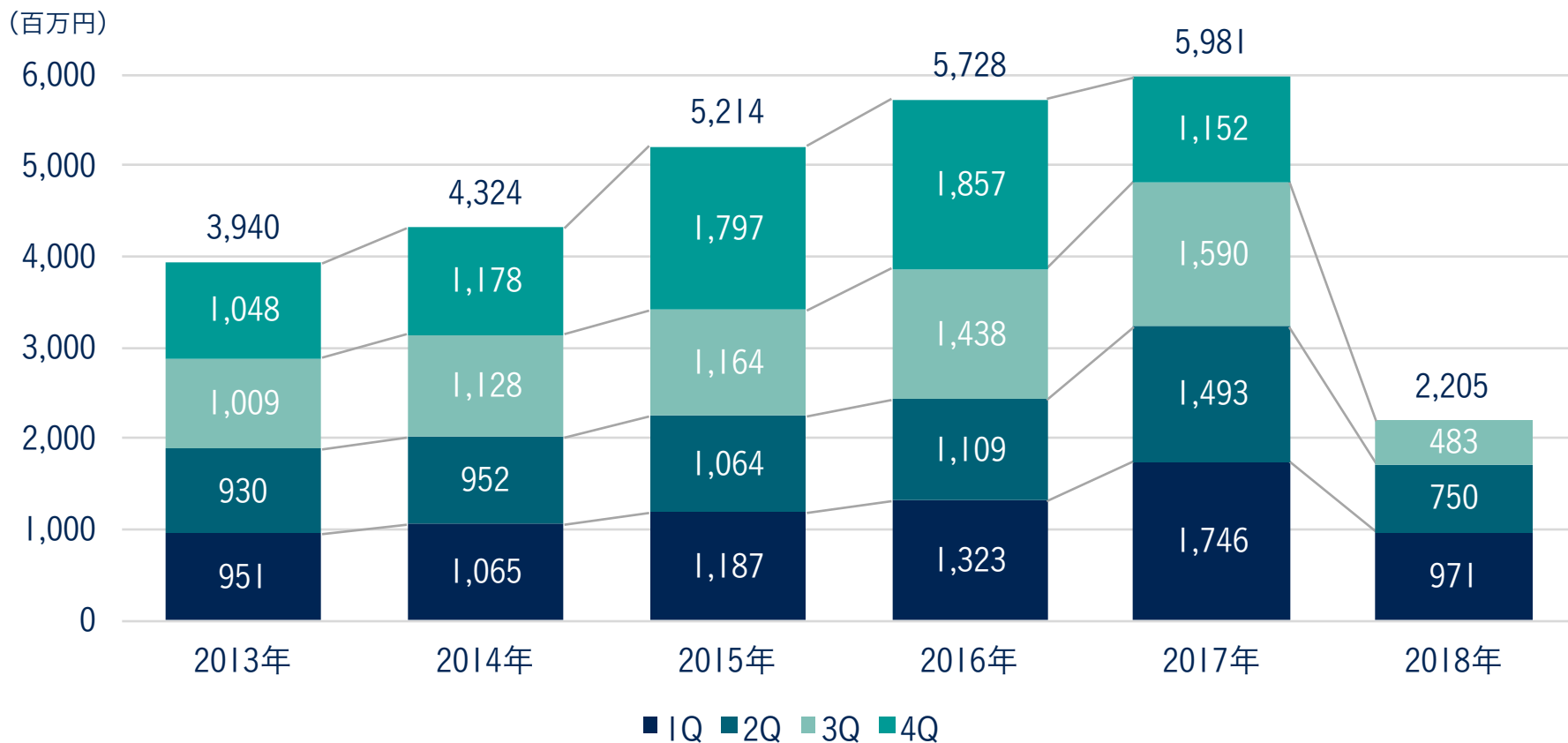
売上高： 1,019百万円 前年比 215.8%増
営業利益： 189百万円

※1 株式会社電縁およびその子会社は2017年11月に、アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に連結除外となっております。

※2 本会計年度よりソーシャルサービス事業はソーシャルメディアサービス事業へと名称を変更いたしました。

連結売上高の推移

CONSOLIDATED NET SALES

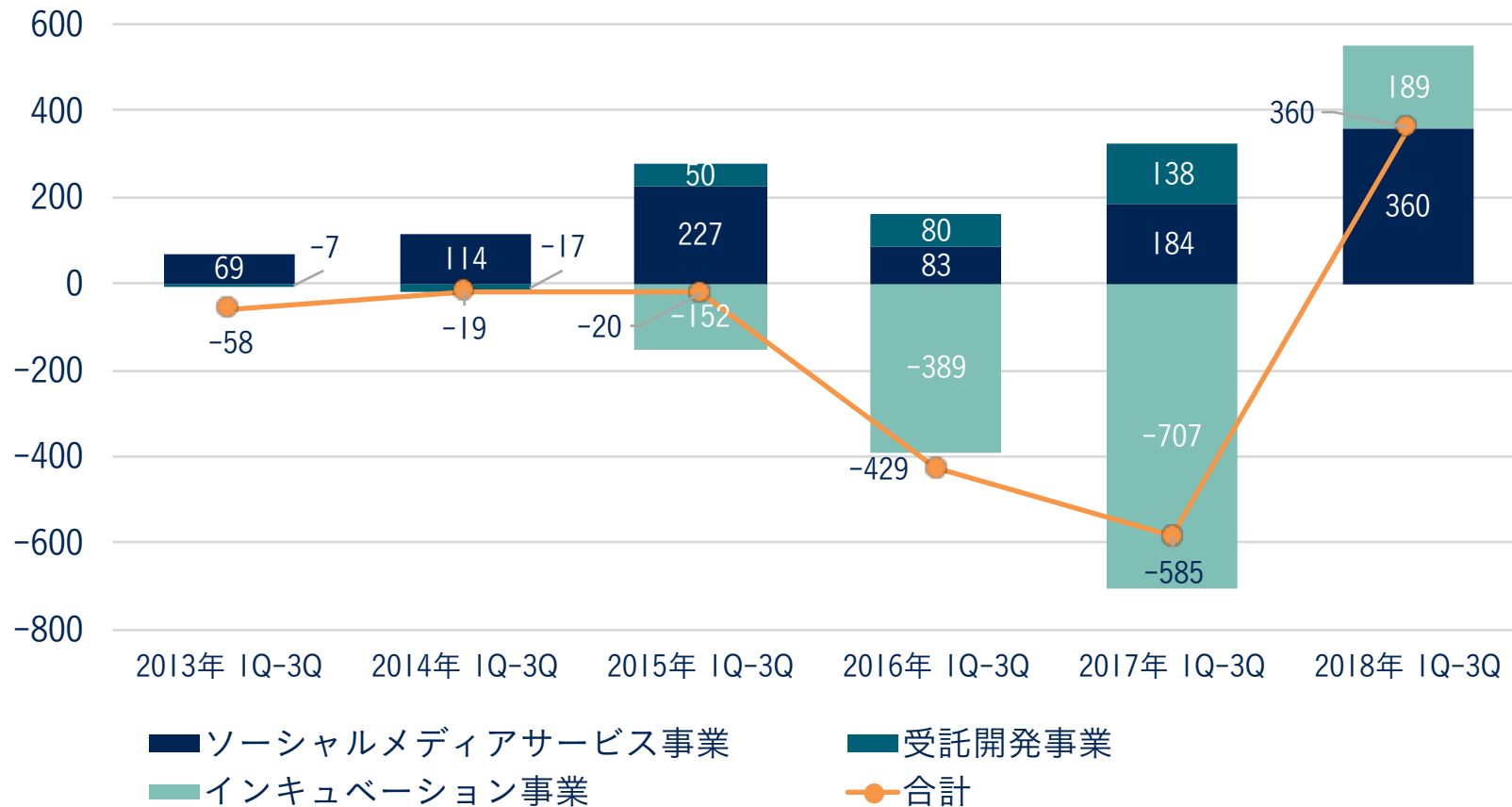


※ 株式会社電縁およびその子会社は2017年11月に、アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に連結除外となっております。

連結営業損益の推移

CHANGE IN CONSOLIDATED OPERATING PROFIT / LOSS

(百万円)



※ 株式会社電縁およびその子会社は2017年11月に、アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に連結除外となっております。

2018年12月期 第3四半期 連結PL

PROFIT AND LOSS STATEMENT FOR THE THIRD QUARTER 2018

単位：百万円	2017年12月期 第1 - 第3四半期	2018年12月期 第1 - 第3四半期	増減額
売上高	4,829	2,205	△ 2,623
売上総利益	1,456	1,377	△ 79
販売費及び一般管理費	2,041	1,016	△ 1,025
営業損益	△ 585	360	+ 946
経常損益	△ 600	372	+ 972
親会社株主に帰属する 当期純損益	△ 665	504	+ 1,170

子会社の
連結除外が影響 ※

既存事業の伸長および
営業投資有価証券
売却益が寄与

法人税還付により
純利益を押し上げ

※ 株式会社電縁およびその子会社は2017年11月に、アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に連結除外となっております。

2018年12月期 第3四半期 連結B/S

BALANCE SHEET FOR THE THIRD QUARTER 2018

単位：百万円	2017/12末	2018/9末	増減
流動資産	1,960	2,040	+ 79
現預金	938	1,316	+ 377
受取手形・売掛金	351	227	△ 124
営業投資有価証券	596	462	△ 133
その他	79	39	△ 39
貸倒引当金	△ 5	△ 4	0
固定資産	218	111	△ 106
有形固定資産	58	26	△ 32
無形固定資産	13	2	△ 11
投資その他の資産	145	82	△ 62
総資産	2,178	2,151	△ 26
流動負債	921	522	△ 399
支払手形・買掛金	57	38	△ 18
短期・1年内返還長期借入金	179	57	△ 122
その他	684	426	△ 258
固定負債	401	197	△ 203
長期借入金	395	195	△ 200
その他	5	2	△ 3
純資産	855	1,431	+ 576
株主資本	554	1,190	+ 636
その他の包括利益累計額	281	224	△ 57
新株予約権 他	19	17	△ 2
負債純資産合計	2,178	2,151	△ 26

株式会社電縁および
アディッシュ株式会社の
連結除外により大きく変動

営業投資有価証券売却益が
財務状況改善に寄与

目次

TABLE OF CONTENTS

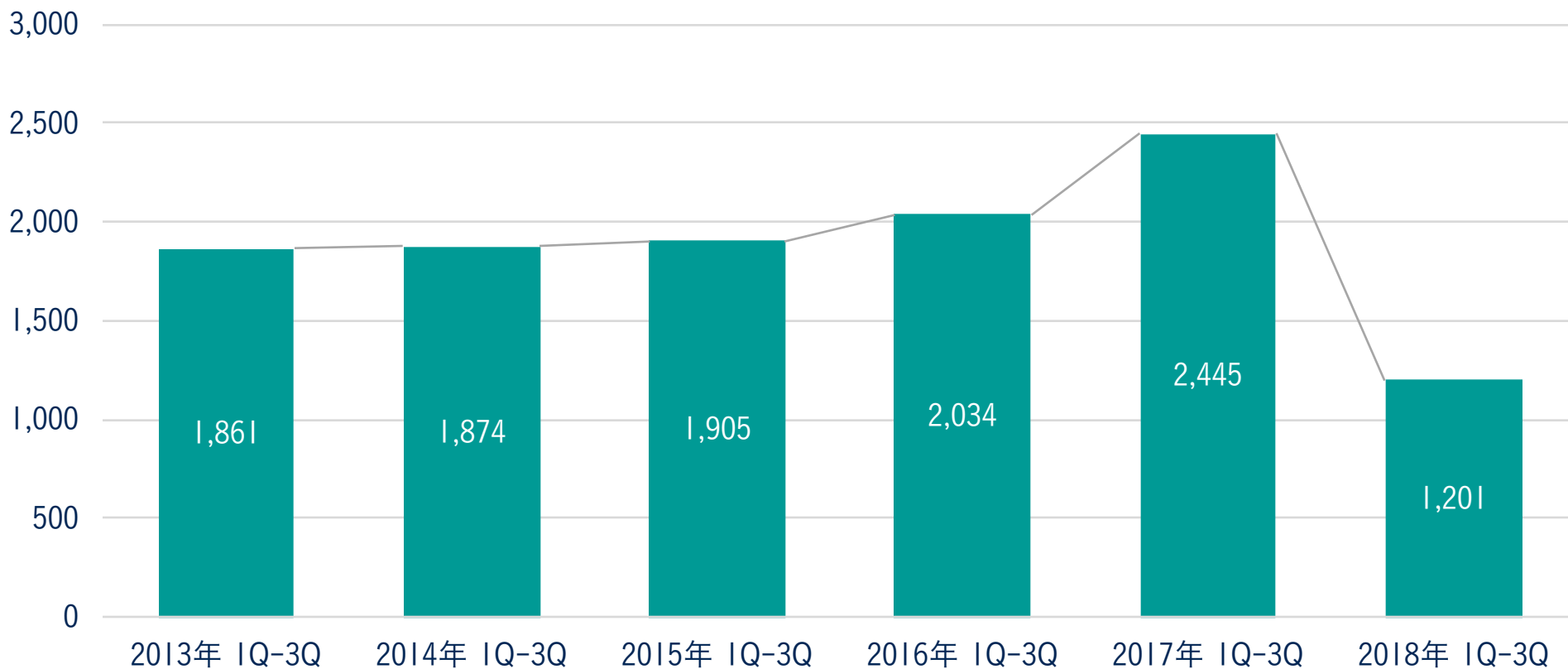
- 連結業績サマリ
- 事業セグメント別業績
- 事業戦略

ソーシャルメディアサービス事業 連結売上高の推移

SOCIAL MEDIA SERVICE BUSINESS / CONSOLIDATED NET SALES

2018年1月、アディッシュ株式会社の連結除外により売上高は減少

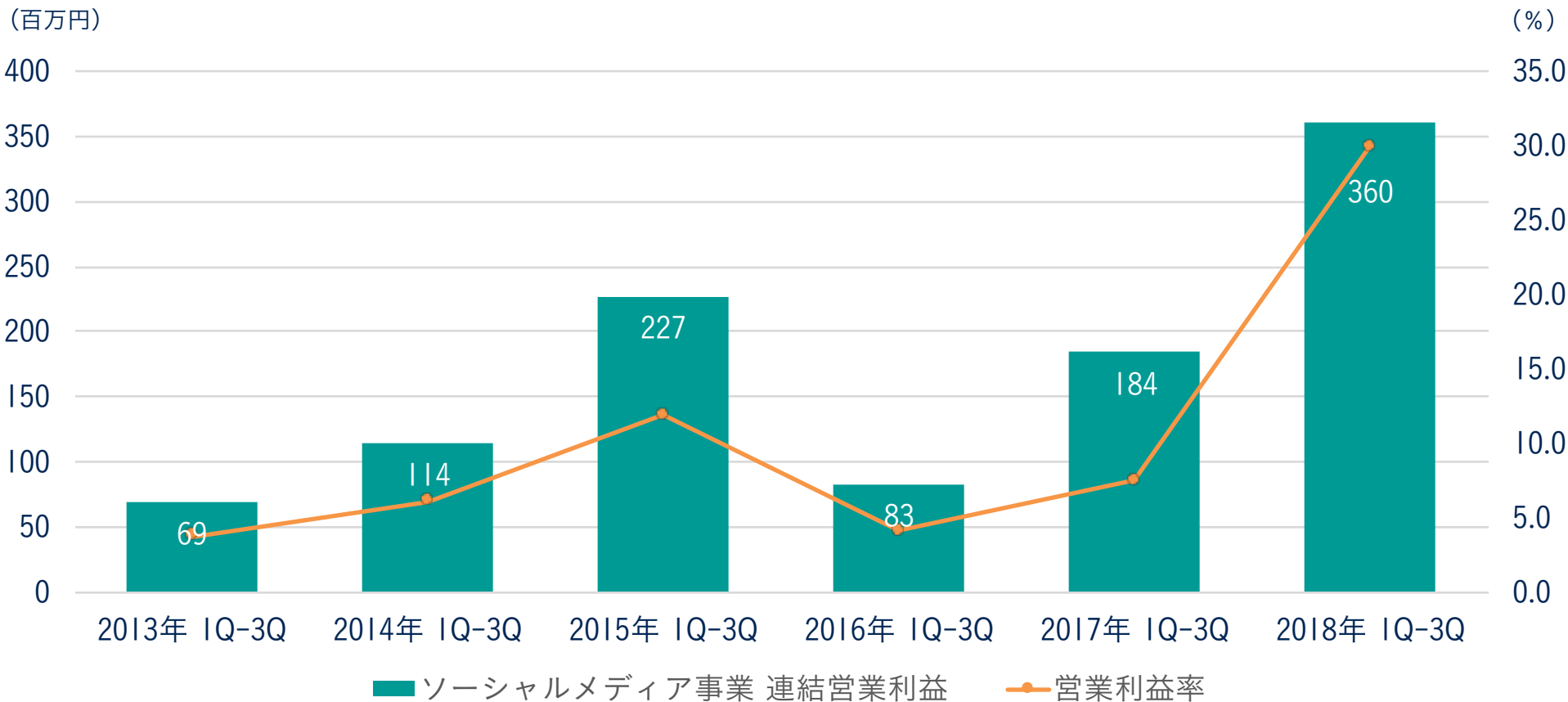
(百万円)



ソーシャルメディアサービス事業 連結営業利益の推移

SOCIAL MEDIA SERVICE BUSINESS / CONSOLIDATED OPERATING INCOME

既存事業の収益改善により営業利益は伸長



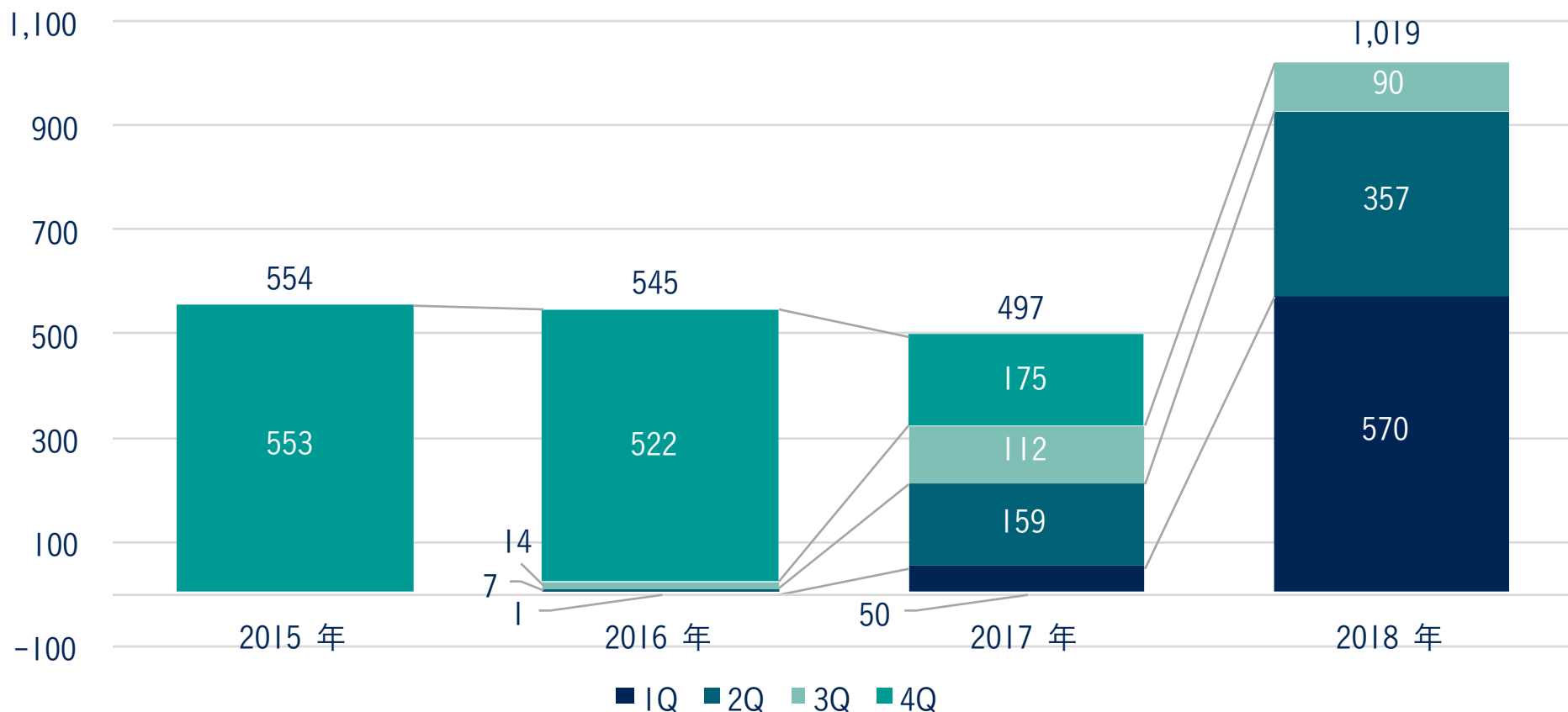
インキュベーション事業 連結売上高の推移

INCUBATION BUSINESS / CONSOLIDATED NET SALES

第2四半期までの営業投資有価証券の売却により大きく積み上げ

アディッシュ株式会社、株式会社TRUSTDOCKは将来的な上場を目指し第三者資本を受け入れ

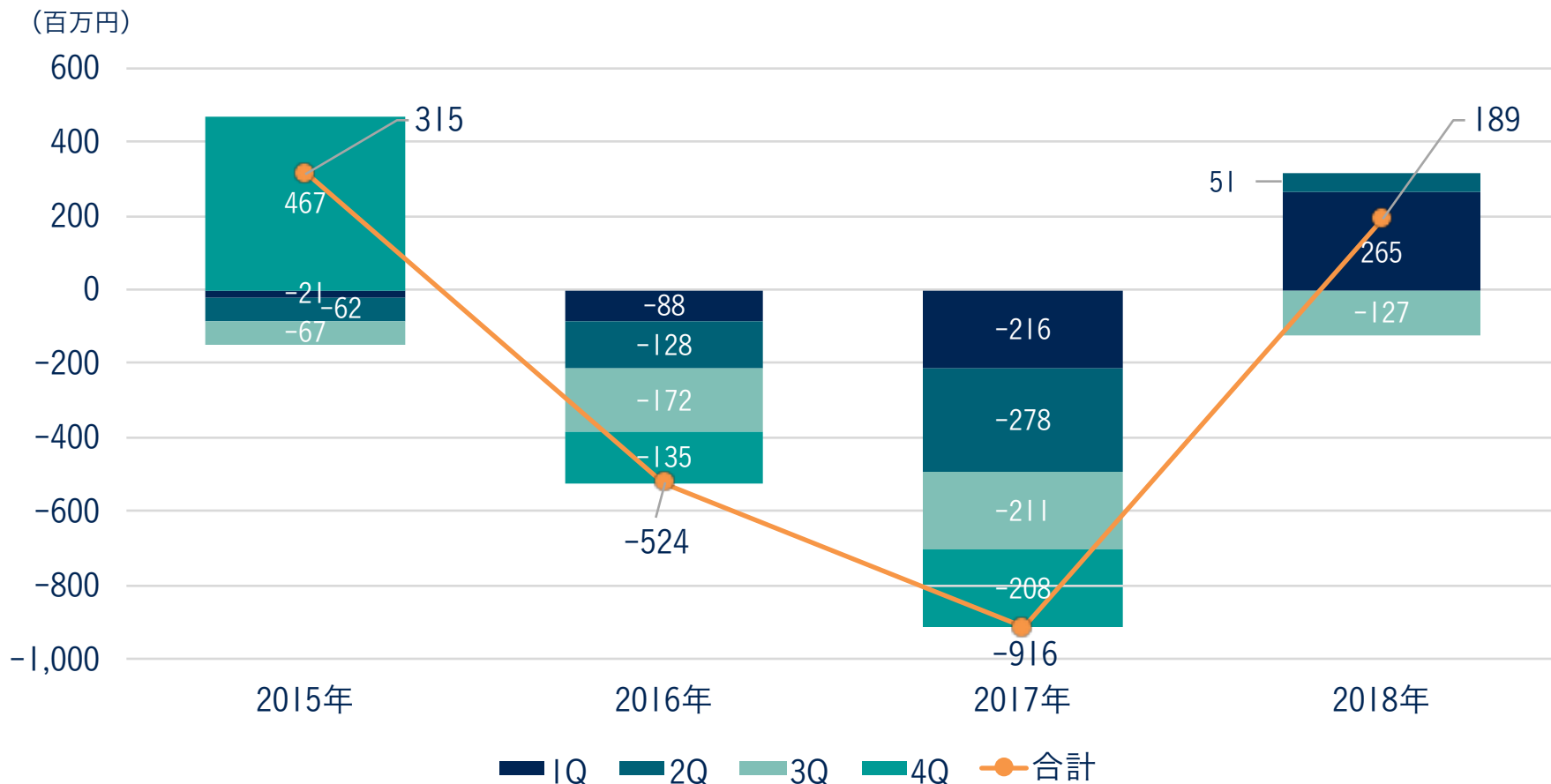
(百万円)



インキュベーション事業 連結営業損益の推移

INCUBATION BUSINESS / CONSOLIDATED OPERATING PROFIT AND LOSS

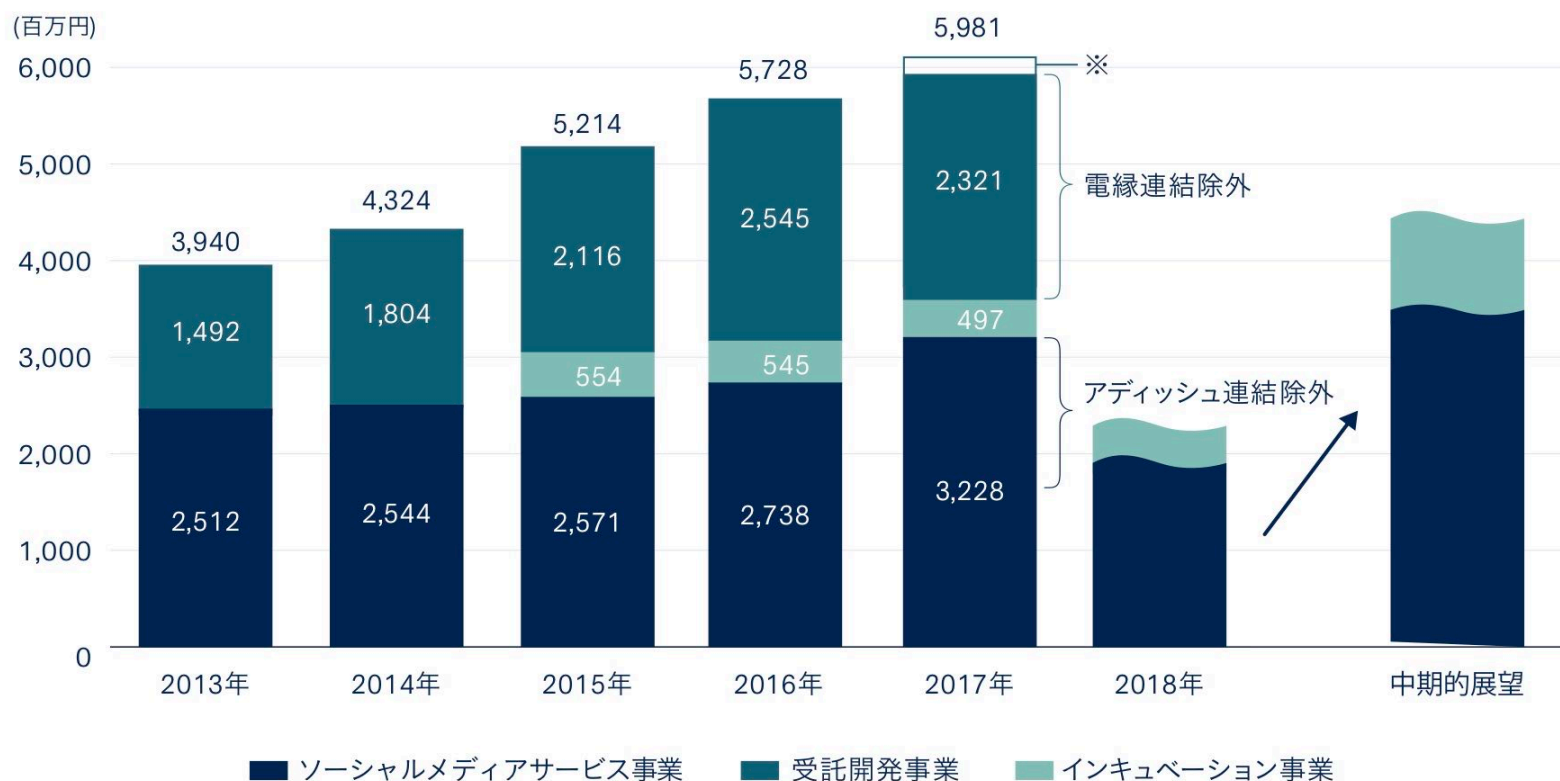
営業投資有価証券の売却および新規事業の販管費改善が寄与した一方、
第3四半期は営業投資有価証券の売却による損益の影響は少なく、先行投資のため赤字着地



子会社2社の連結除外の影響と今後の展望 売上高

IMPACT OF CONSOLIDATION OF TWO SUBSIDIARIES AND FUTURE SALE PROSPECTS

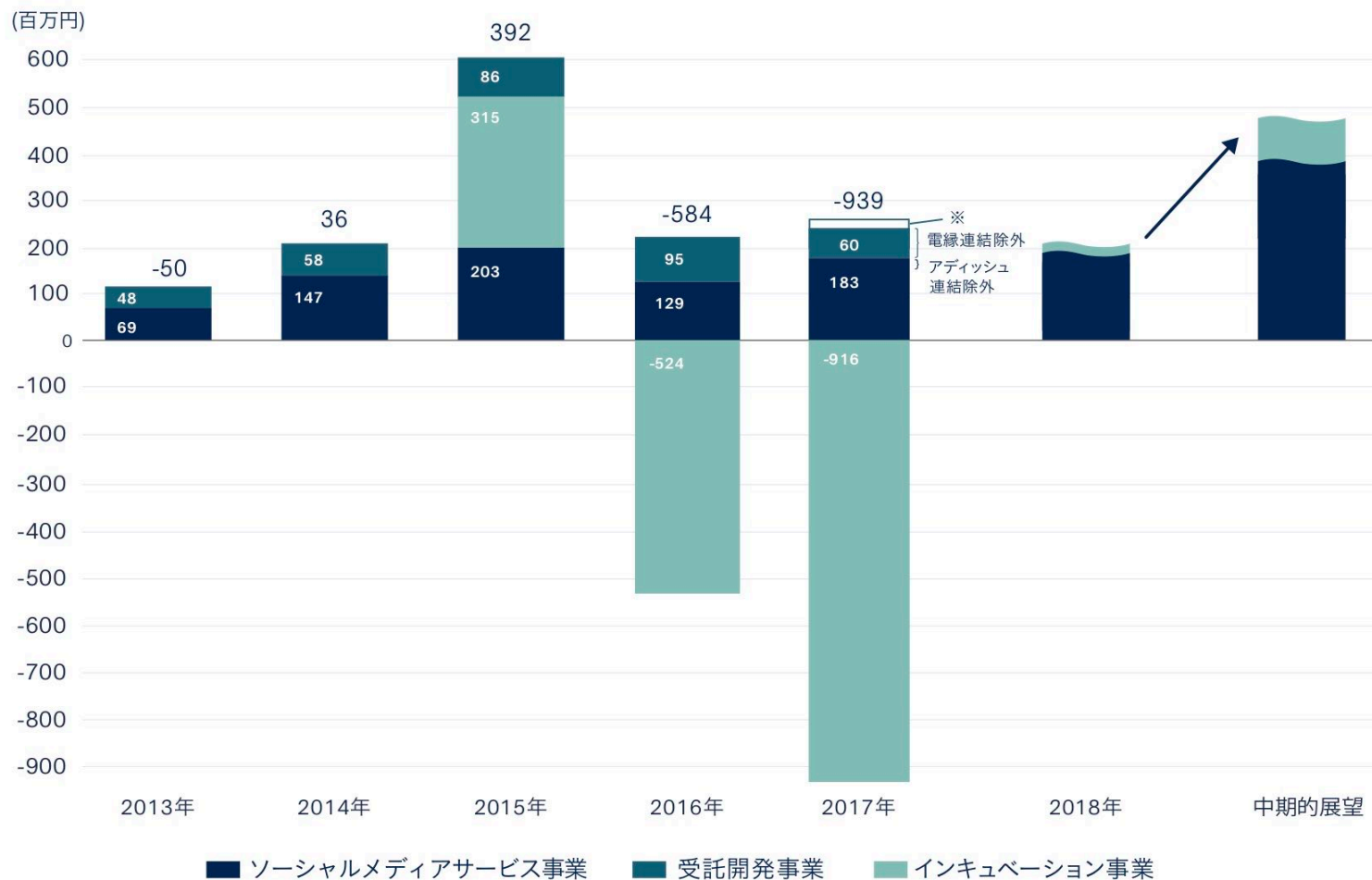
連結除外の影響で、売上高は低下する見通しですが、カーブアウト戦略を採った事業については営業投資有価証券としてその事業の成長分のリターンを回収していく予定



※1 株式会社電縁およびその子会社は2017年11月に、アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に連結除外となっております。

子会社2社の連結除外の影響と今後の展望 営業損益

IMPACT OF CONSOLIDATION OF TWO SUBSIDIARIES AND THE FUTURE PROSPECTS FOR OPERATING PROFIT AND LOSS



※1 株式会社電縁およびその子会社は2017年11月に、アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に連結除外となっております。

今後の見通し

OUTLOOK ON THE FISCAL YEAR 2018

ソーシャルメディアサービス事業

ソーシャルメディアサービス事業については、引き続きSNSマーケティングやソーシャルメディアを活用したプロモーションの需要が増加傾向にあるものの、アディッシュ株式会社およびその子会社2社が連結の範囲から除外されることにより、売上高は前連結会計年度に比べ約40%ほど減少する見込みです。

インキュベーション事業

インキュベーション事業においては、マーケット環境や市況動向次第で損益が大きく変動する可能性が高く、適正な業績の予測が極めて困難となっております。

連結グループ

事業単位での業績予測が困難なことから、連結グループとしての業績予想の開示は行わない方針です。

目次

TABLE OF CONTENTS

- 連結業績サマリ
- 事業セグメント別業績
- 事業戦略

GAIAX IS A **RESPONSIBILITY-DRIVEN** COMMUNITY THAT EMPOWERS PEOPLE TO **CONNECT**

ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディアとシェアリングエコノミーに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

現在の社会課題

PRESENT SOCIAL ISSUES



環境汚染

ENVIRONMENTAL POLLUTION



大量生産・大量消費

MASS CONSUMERISM



大量廃棄

MASS DISPOSAL



飢餓・貧困

HUNGER AND POVERTY

資本主義の枠組みでは解決できない課題

ISSUES THAT CANNOT BE SOLVED WITHIN THE CAPITALISM SCHEME

現在の社会課題

PRESENT SOCIAL ISSUES



共通リソースの共有

SHARE OF COMMON RESOURCES



共助による社会インフラ

SOCIAL INFRASTRUCTURE
THROUGH MUTUAL ASSISTANCE



資源の再分配

REDISTRIBUTION OF GOODS



コミュニティの創生

COMMUNITY CREATION

シェアリングエコノミーで持続可能な社会を作る

SHARING ECONOMY LEADS TO SUSTAINABLE SOCIETY

価値観と戦略

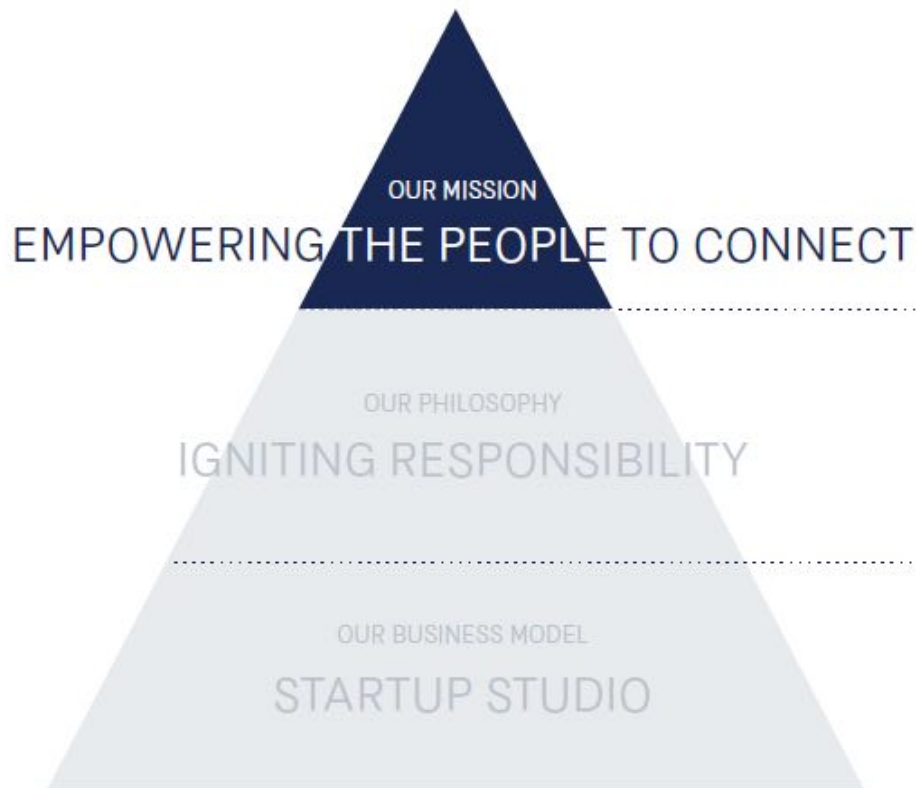
OUR VALUES AND STRATEGY



ミッション達成のための2つの戦略

OUR CORE MISSION STRATEGIES

ソーシャルメディア × シェアリングエコノミー



ミッションドリブンな事業展開

- ソーシャルメディア事業
- シェアリングサービス事業

フリー・フラット・オープンな社風

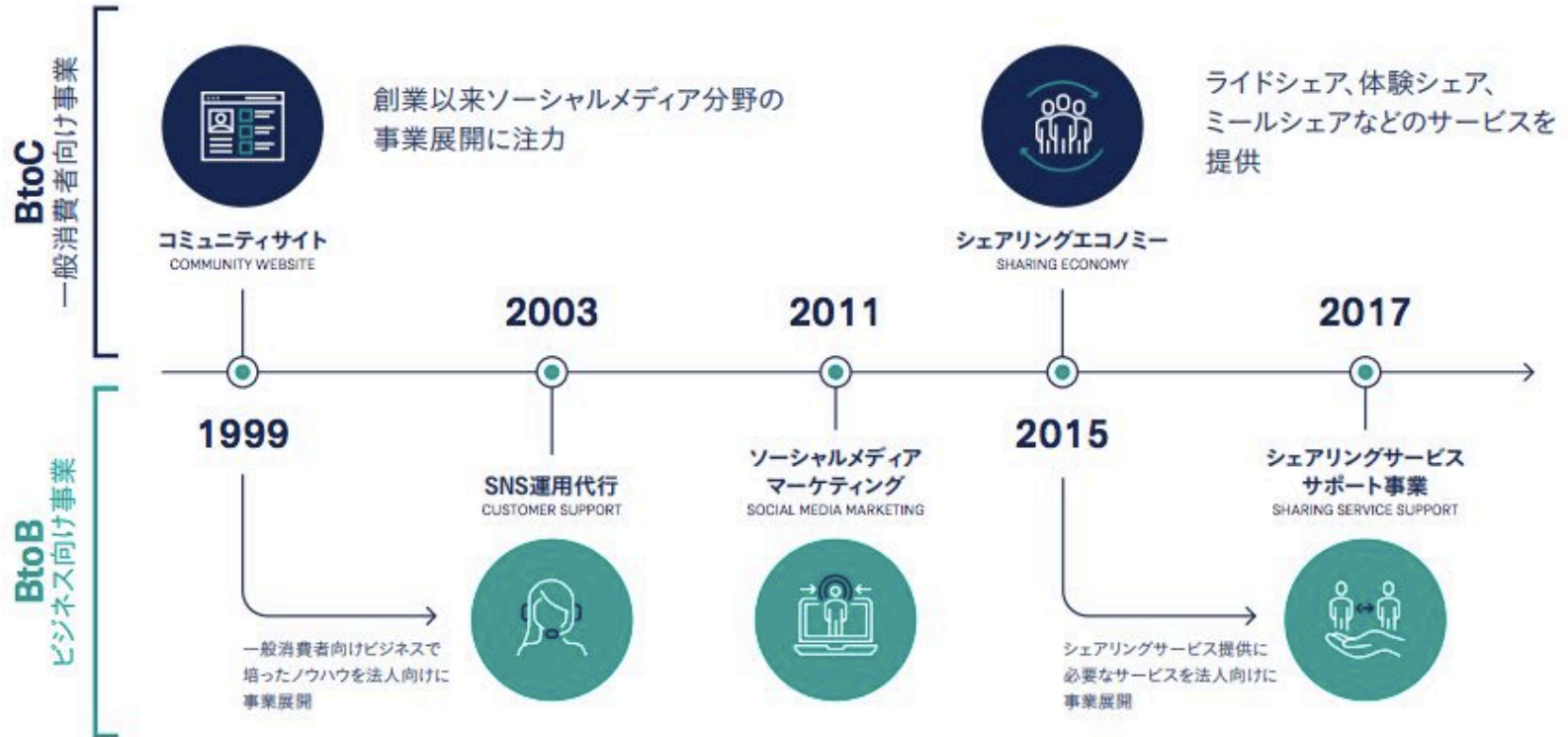
- アントレプレナーの輩出
- ホラクラシー型組織

スタートアップが生まれ成長する環境

- カーブアウト制度
- 事業部独立採算制
- 卒業生への出資

創業からの事業領域の変化

EVOLUTION OF BUSINESS DOMAIN



ガイアックスの事業成長戦略

GAIAX BUSINESS GROWTH STRATEGY

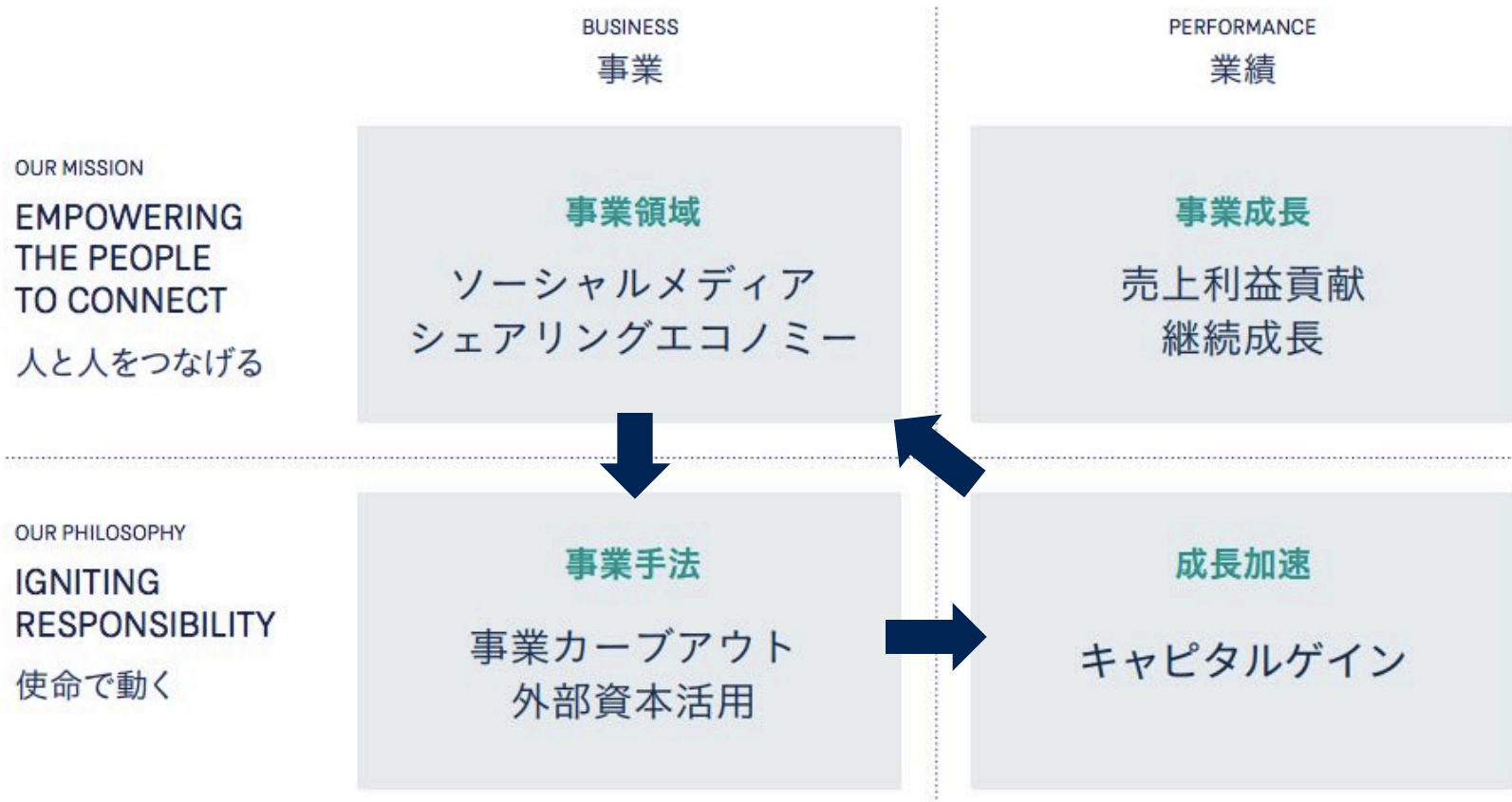
ミッション・フィロソフィーに沿った事業領域・事業手法



ガイアックスの事業成長戦略

GAIAX BUSINESS GROWTH STRATEGY

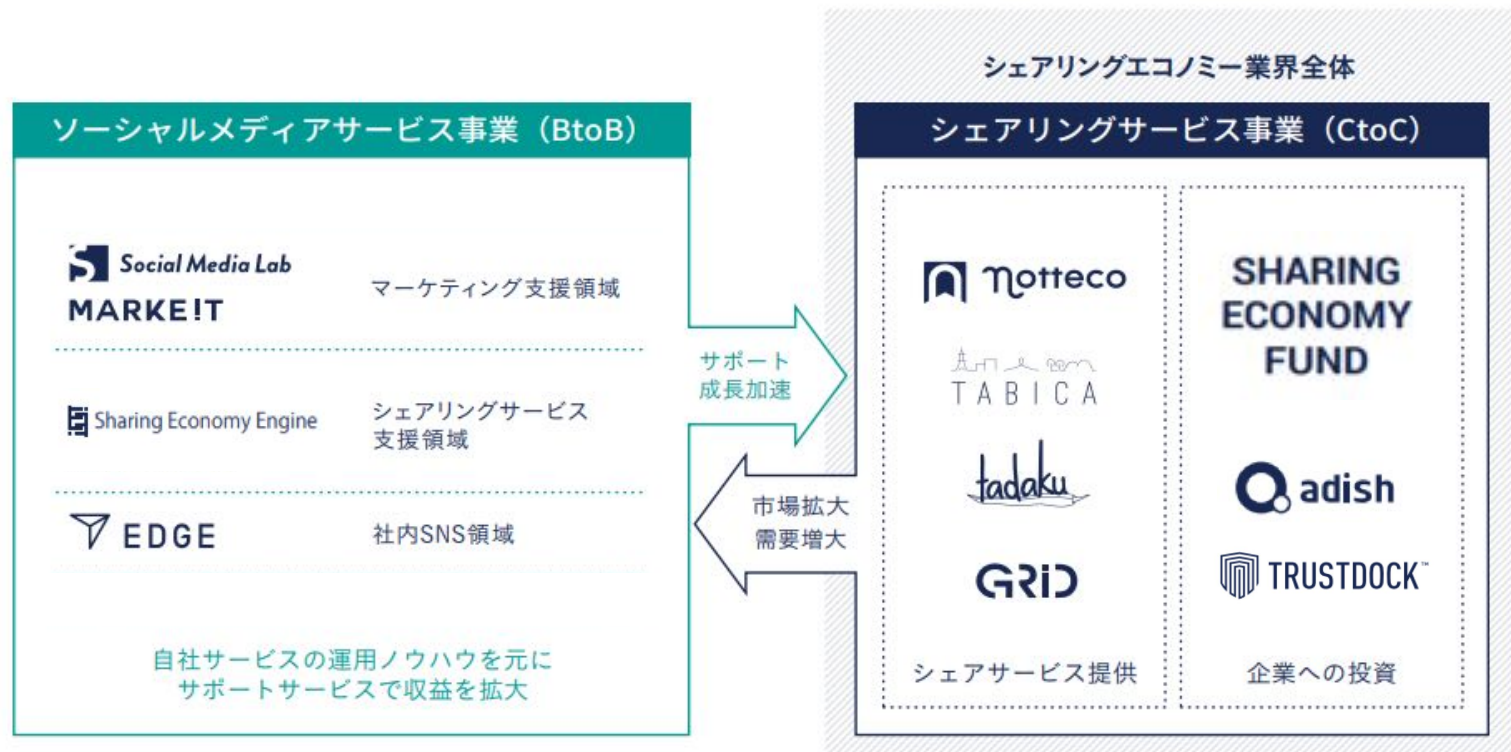
事業カーブアウトおよび外部資本活用による事業成長に注力



事業戦略 シェアリングエコノミー

BUSINESS STRATEGY: SHARING ECONOMY

力強い成長スパイラルを実現させる仕組み：
自社サービスの運営と、そこで培ったノウハウを元にサポート事業を拡大



ミッション達成のための2つの戦略

OUR CORE MISSION STRATEGIES

使命で動くスタートアップスタジオ



創業以来、事業・起業家の輩出に注力

FOCUS ON ENTREPRENEURSHIP

経営者視点を 育む企業風土

- 独立採算制度
- クォーター・キャリアコーチング・プログラム
- フリー・フラット・オープンな社風

当社出資先の株主上場カーブアウト制度の整備

- 当社卒業、当社出資先ピクスタ株式会社が株式上場
- 当社よりカーブアウト、当社出資先AppBank株式会社が株式上場
- 当社卒業生が創業したスマートロックロボット「Akerun」を提供するIoTベンチャーの株式会社フォトシンスなどへの出資
- 2017年、社内SNS領域のAiry事業がカーブアウト、EDGE株式会社設立
- 2018年、アディッシュ株式会社、上場を目指しエクイティファイナンスを実施



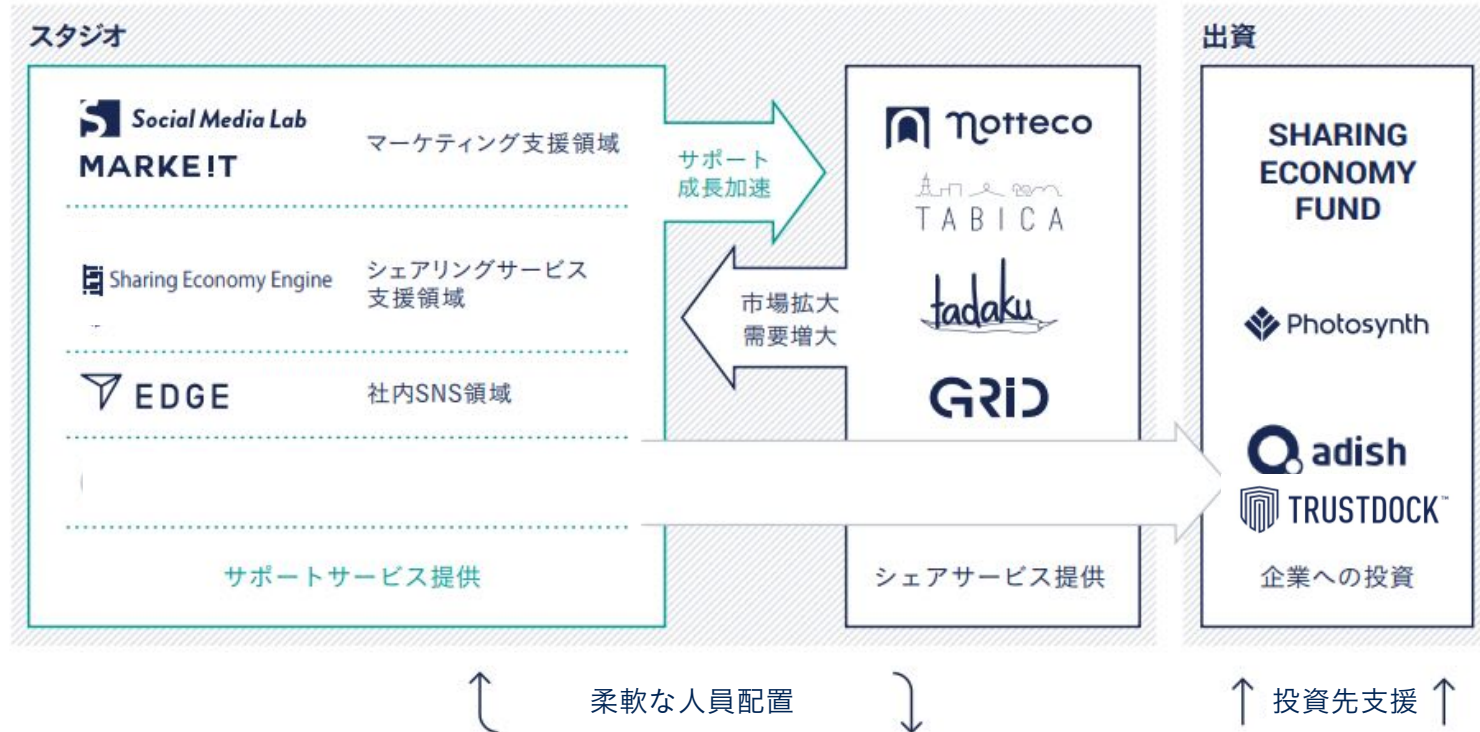
経営者予備軍を集めるインターンや新卒採用

- 「就職活動後の人気企業ランキング45位」（AERA 2004年）
- 新卒入社卒業生7割が企業（2015年調べ）

事業戦略 スタートアップスタジオ

BUSINESS STRATEGY

カーブアウト制度により分社独立を支援、アントレプレナー人材の獲得を強化

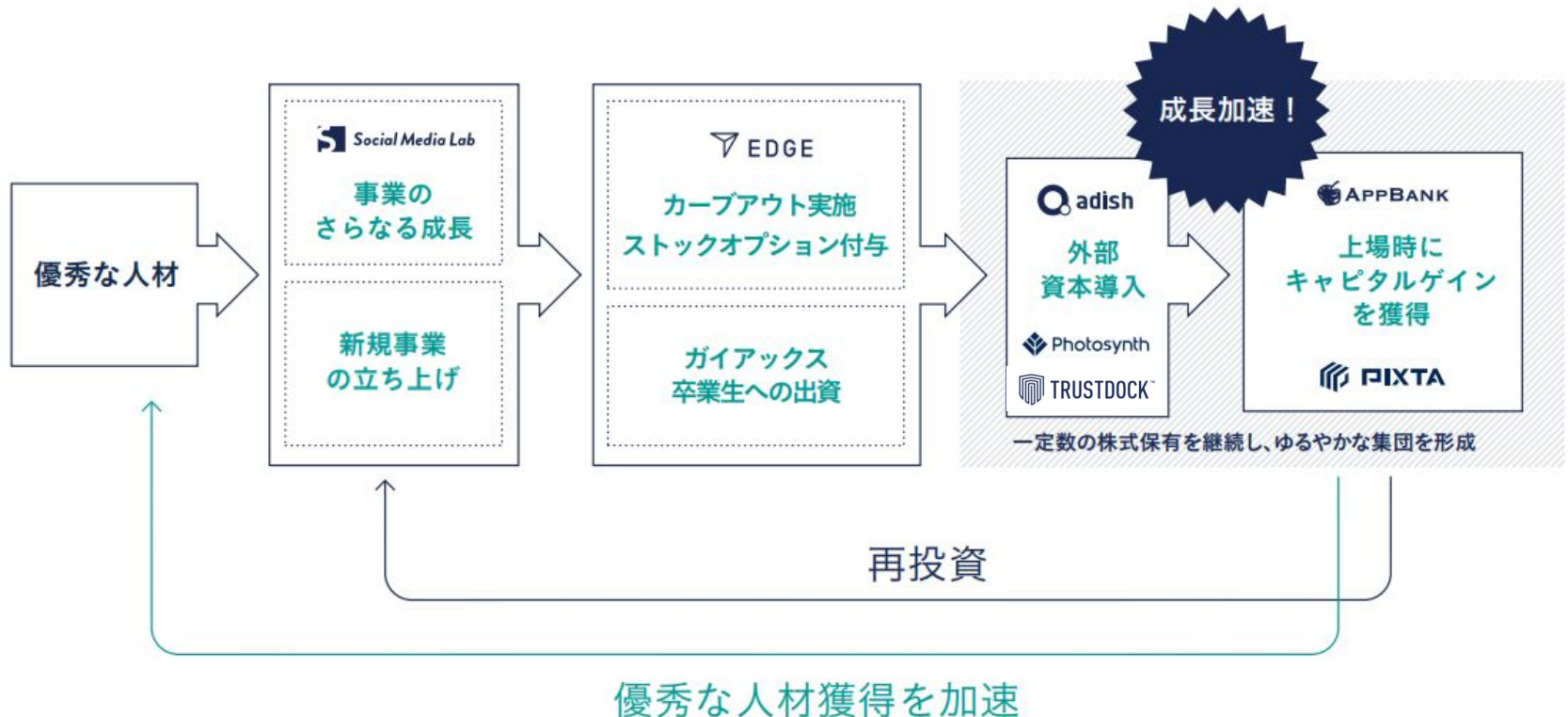


共有アセット：ノウハウ／エンジニアリング／デザイン／マーケティング／採用／総務／法務

事業戦略 スタートアップスタジオ

BUSINESS STRATEGY

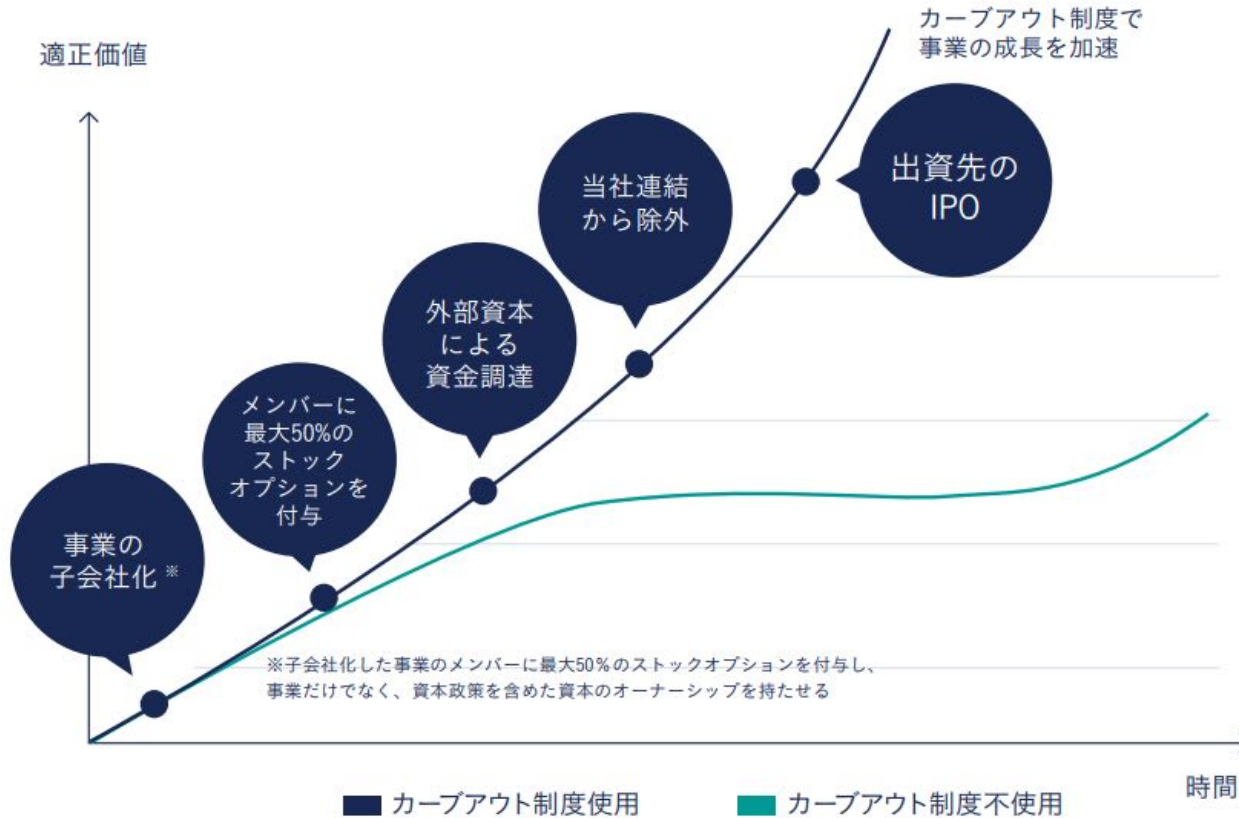
各事業部へのオーナーシップを付与、また当社卒業生への出資によるスピード経営を実現



カーブアウトオプション制度

CARVE OUT OPTION SYSTEM

事業成長を最大化させる取り組みを実施



カーブアウト制度活用例



- 2008年 AppBank.net事業を開始
- 2012年 AppBank株式会社として新設分割、外部資本受け入れ
- 2015年 東証マザーズへ上場

アディッシュ株式会社は外部資本活用でさらなる成長を加速へ

ADISH CO.,LTD. ACCELERATES FURTHER GROWTH BY UTILIZING EXTERNAL CAPITAL

アディッシュ株式会社はエクイティファイナンスを実施し、
連結外でのより大きな成長を目指す



アディッシュ株式会社

SNS市場の成長とともにサポートサービスの売上も比例して成長を継続。

2014年10月	カスタマーサポート事業部をアディッシュ株式会社として分社独立化
2015年10月	いじめ匿名通報「Kid's Sign」提供開始
2016年4月	カスタマーサポートパッケージ「フロントサポート」提供開始
2016年10月	チャットサポート「hitobo」提供開始
2018年1月	外部資本を活用、連結外でのより大きな成長を目指す



会社概要

企業理念 つながりを常によろこびに
DELIGHT IN EVERY CONNECTION

代表者 代表取締役 江戸浩樹

所在地 東京都品川区西五反田1-21-8 KSS五反田ビル8階

子会社 アディッシュプラス株式会社(沖縄県那覇市)
ADISH INTERNATIONAL Corporation(フィリピン・マニラ)

従業員数 407名(正社員69名)(2018年1月4日現在)

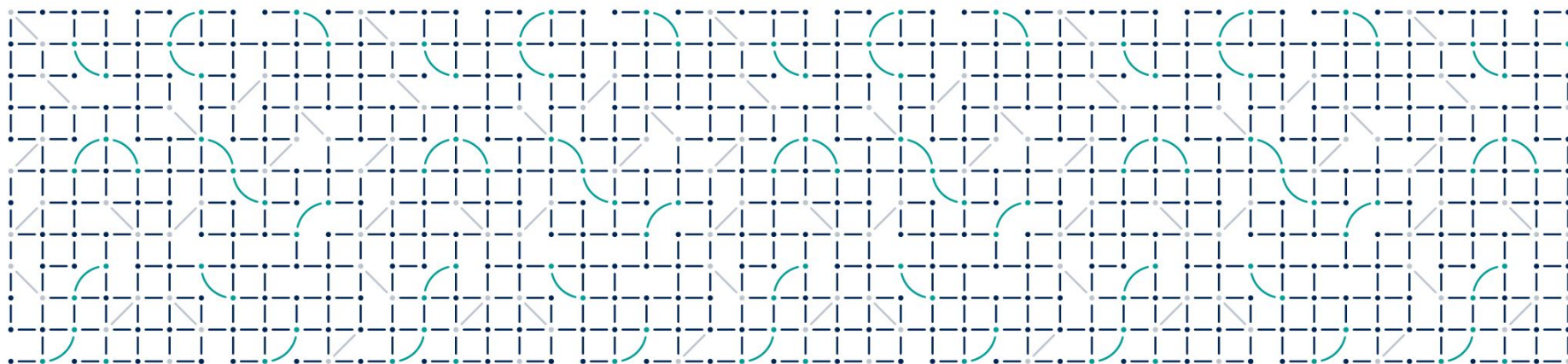
注意事項

NOTES

- ・ 本資料における見通し、戦略等は、弊社を取り巻くさまざまな要素により大きく異なることも考えられます。将来の戦略、業績等につきましては、ご説明申し上げます内容と異なる可能性がございます。
- ・ 本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないもの、当社の現在の計画、戦略、見込み等、既に確定した事実でないものはガイアックスの将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は、記載の見通しと異なる可能性があることをご了承ください。
- ・ また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に弊社が将来の見通しを見直すとは限りません。
- ・ 本資料の掲載内容の全てもしくは一部につき、当社の事前の承諾なく、私的利用その他法律によって認められている範囲を超えて、複製、改変、転用、掲示、送信、領布、ライセンス、販売、出版等することを禁止いたします。
- ・ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

APPENDIX

FINANCIAL RESULTS FOR THE SECOND QUARTER 2018



会社概要

COMPANY OVERVIEW

2018年9月末時点

会社名	株式会社ガイアックス Gaiax Co.,Ltd.	上場	名古屋証券取引所セントレックス市場
所在地	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRID	従業員数	108名 (連結・正社員)
代表者	代表執行役社長 上田 祐司	決算	12月
設立	1999年3月5日	発行株式数	5,147,752株
資本金	100百万円	株主数	2,850名 (2017年12月末時点)
加盟団体	一般社団法人シェアリングエコノミー協会 代表理事 一般社団法人日本ブロックチェーン協会 代表理事	事業内容	・ ソーシャルメディアサービス事業 ・ シェアリングエコノミー事業 ・ インキュベーション事業



ベンチャー広報

GaiaX Global Marketing & Ventures Pte. Ltd.

他 合計9社

※ 2018年1月にアディッシュ株式会社およびその子会社が、
2018年6月には株式会社TRUSTDOCKが連結から除外となっております。

ソーシャルメディアサービス事業の構成

SOCIAL MEDIA SERVICE BUSINESS

ソーシャルメディア領域



企業内SNS領域



Webマーケティング 支援領域



インキュベーション事業の構成

INCUBATION BUSINESS

グループ内 シード・アクセラレータ

TABICA

地域体験マッチング事業
シェア × 体験

notteco

株式会社notteco
シェア × 車

tadaku

株式会社Tadaku
シェア × 食

GRID

シェアオフィス事業
シェア × オフィス

adish

アディッシュ株式会社
シェア × サポート

TRUSTDOCK™

株式会社TRUSTDOCK
シェア × 本人確認

グループ外 シェアリングエコノミー企業への投資

SHARING
ECONOMY
FUND

nutte

NOKI
SAKI

Spacee

百戦
錬磨

Huber.

careL

M

TRAVEL PLANET

SHARE CYCLE

Runtrip

OTERA STAY

DogHuggy

グループ外 当社の卒業生が創業・経営企業への投資

FIXTA

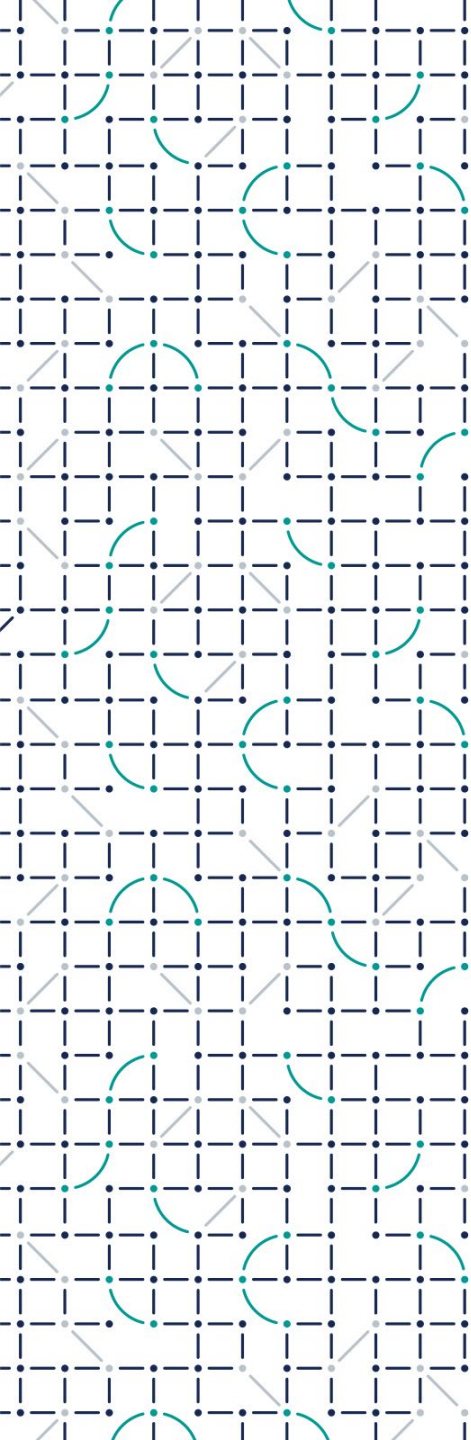
APPBANK

TOSYO
OTAKU
MODE

Photosynth

NICOLY:)

※ アディッシュ株式会社およびその子会社、ならびに株式会社TRUSTDOCKは連結から除外となっております。また、掲載投資先は全投資先ではなく一部です。



- シェアリングエコノミー市場への取り組み
- インキュベーション事業投資先の紹介

拡大するシェアリングエコノミー領域

THE EXPANDING OF SHARING ECONOMY

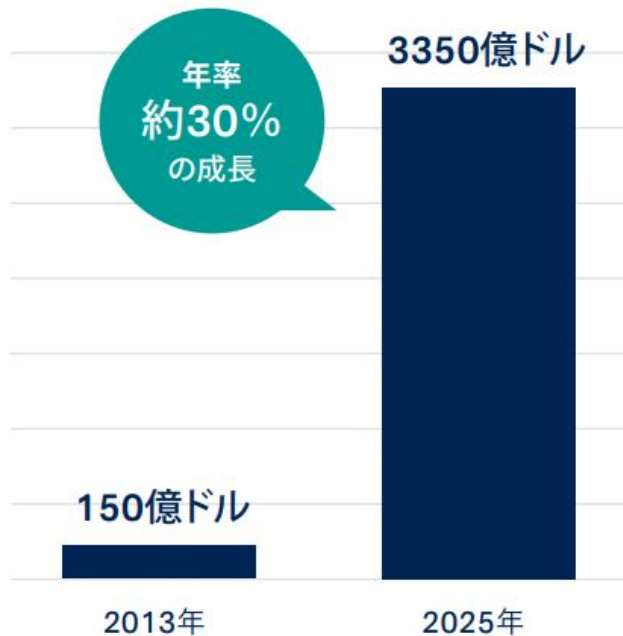


拡大するシェアリングエコノミー市場

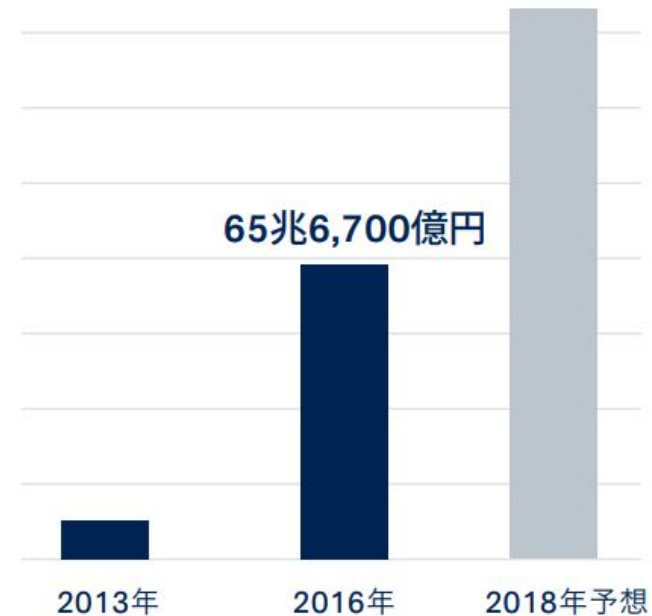
EXPANDING OF THE SHARING ECONOMY MARKET

シェアリングエコノミーの世界市場規模の予想

2016年末の中国のシェアリングエコノミー市場規模は約65兆6,700億円となり、すでに予想を越えたスピードで成長



出所:総務省「情報通信白書 平成27年版」



出所:中国電子商務研究センター

世界で活躍するシェアリングエコノミー企業

MAJOR SHARING ECONOMY COMPANIES IN THE WORLD



※金額は各社の企業評価額で、直近の資金調達の際の評価額（1USドル=110円で換算）

シェアリングエコノミー市場で、多様な収益拡大・機会を創出

DIVERSE REVENUES AND OPPORTUNITIES FROM THE SHARING ECONOMY MARKET



インキュベーション
事業でのキャピタルゲイン



ソーシャルサービス
事業の収益拡大

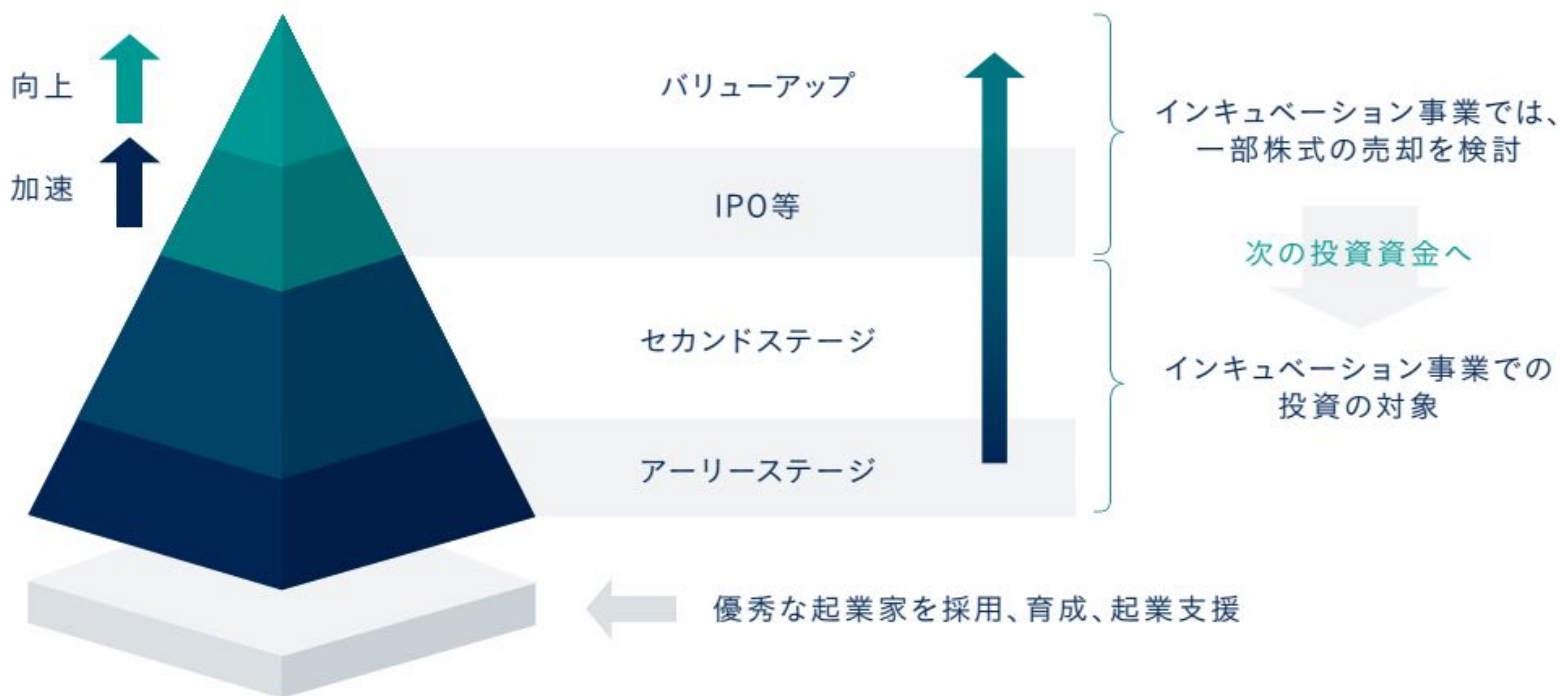


新規事業とのシナジー
創出による収益拡大

インキュベーション事業 ステージ別の取り組み

INCUBATION BUSINESS STAGES

当社事業とのシナジーによる成長スピードの
加速とさらなる企業価値の向上



インキュベーション事業 現在のパイプライン

INCUBATION BUSINESS / PRESENT PIPELINE

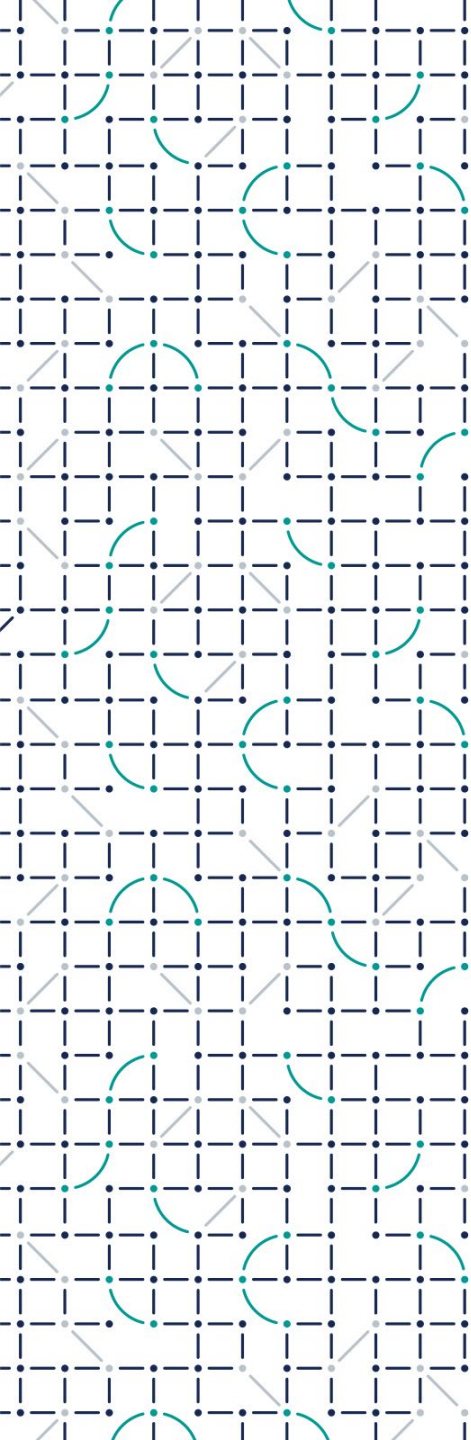


※ アディッシュ株式会社およびその子会社、ならびに株式会社TRUSTDOCKは連結から除外となっております。
また、掲載投資先は全投資先ではなく一部です。

事業別収益モデルなどの整理

BUSINESS REVENUE MODEL

	ソーシャルサービス事業	インキュベーション事業 (グループ内)	インキュベーション事業 (グループ外)
収益化の方法	シェアリングエコノミー企業 からのサービス利用収入	サービス利用者 からの手数料収入	主として キャピタルゲイン
収益タイプ	積上げ型・安定型	事業会社型	スポット型
リスク度合い	リスク：低 (市場拡大につれ収益は自然増)	リスク：中～高 (当社が一定程度コントロール)	リスク：中～高 (V Cと比較しリスクは低)
収益貢献までの期間	短期～中期 (1～5年)	中長期 (3年～)	長期 (5年～)



- シェアリングエコノミー市場への取り組み
- インキュベーション事業投資先の紹介

グループ内

INTERNAL BUSINESS



地元の人と交流ができる
地域体験予約サイト



外国人先生による
家庭料理教室



日本最大級の
相乗りマッチング型
ライドシェアサービス

※掲載投資先は全投資先ではなく一部です。

グループ内

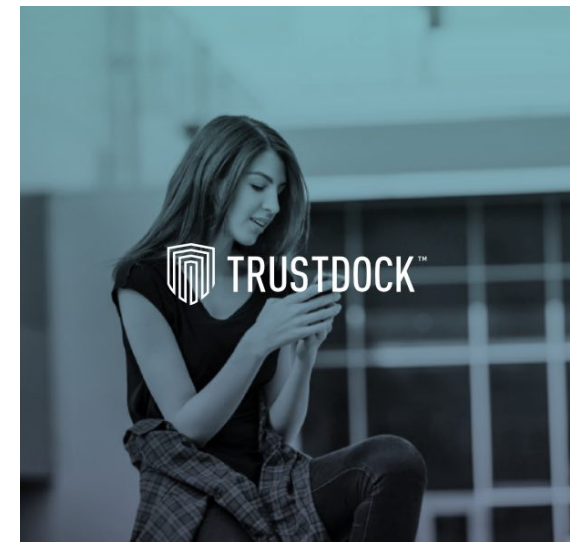
INTERNAL BUSINESS



ビジョンや活動を共有する
コミュニティビル



「つながり」によって
生じる、新たな課題の
解決



API型の
本人確認サービス

※アディッシュ株式会社およびその子会社、ならびに株式会社TRUSTDOCKは連結から除外となっております。
また、掲載投資先は全投資先ではなく一部です。

グループ外

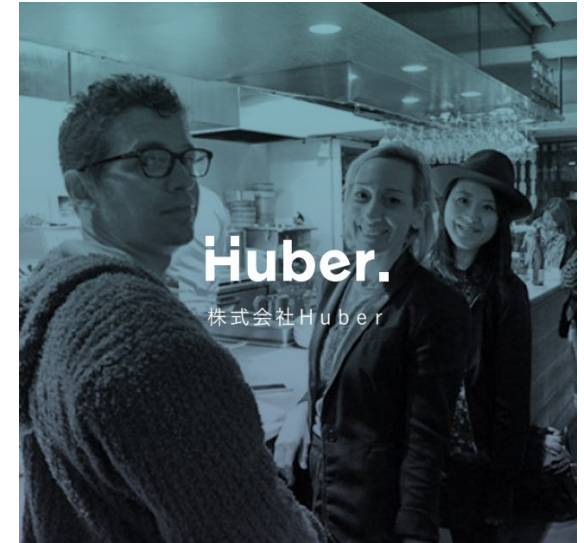
EXTERNAL INVESTMENT



国家戦略特区法を活用の
民泊サービスを展開



累計利用者数30万人の
会議室シェアサービスを展開



訪日外国人向けの観光
ガイドマッチング
サービスを展開

※掲載投資先は全投資先ではなく一部です。

グループ外

EXTERNAL INVESTMENT



素敵なランニングコース
やイベントを簡単検索



「日本の魅力」と「あ
りがとうの感謝の輪」
を世界に広げていく体
験ステイサービス



世界初の後付型スマー
トロックロボット
「Akerun」を提供

※掲載投資先は全投資先ではなく一部です。